

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松原市岡一丁目物流施設開	階数	地上3F
建設地	大阪府松原市岡	構造	S造
用途地域	岡一丁目地区、法23条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2023年1月5日
敷地面積	10,811 m ²	作成者	奥山 裕貴、田村 諭司
建築面積	4,761 m ²	確認日	2023年1月6日
延床面積	13,948 m ²	確認者	石田 博之、五味 操一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

音環境	3.0
温熱環境	1.8
光・視環境	2.6
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	2.6
耐用性	3.0
対応性	4.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

地球温暖化	4.1
地域環境	3.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	松原市岡一丁目建設される物流施設の計画である。省エネ・省資源に配慮しつつ快適性の向上を図っている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を採用し空気質環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化に配慮している。
LR1 エネルギー	高効率設備の採用により省エネに配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量削減に配慮している。
Q2 サービス性能	ゆとりのある天井高や階高、フレキシブルな計画とすることで快適性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	省水型機器やリサイクル材を採用し省資源に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0133

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)松原市岡一丁目物流施設開発計画					
	建設地	大阪府松原市岡					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		